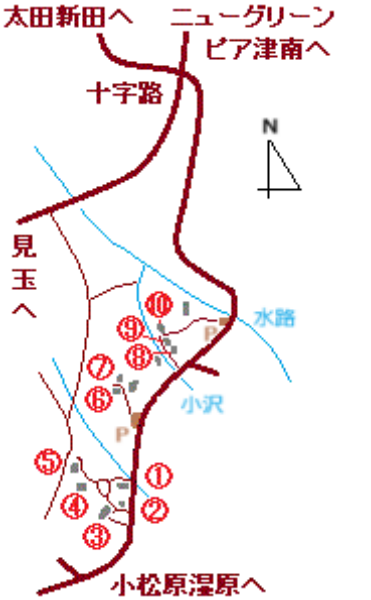
越後津南　太田新田ボルダー笹葉峰エリア Ver.3.0

令和６年８月５日　RCT/K



このエリアは、太田新田ボルダーメインエリアと同時期に見つけていたものだが、数も少なく、一見あまり魅力的なものがなかったため、開拓はこの周辺では後回しとなってしまったが、①の岩をトライしに行った際、林の奥に④と⑤の大きめの岩を発見し、意外と楽しめるエリアであることが分かった。

場所はメインエリアから南方へ林道を進むと、十字路があるので、小松原湿原方面の林道に左折する。暫く行くと、林道のすぐ右横に①のボルダーがあるので目印となる。

ボルダーは数ヶ所に散在しており、岩質は安山岩で、大きさは 1.5 から 4m 程で SD 課題が中心である。

アクセスは、上記の通りだが、駐車スペースが限られており、①の岩の手前 50m 程のところと水路の先右側に駐車スペースがある。他の車も通るので、退避スペースも考慮しながら停めた方が良い。。

アプローチは、①と②は林道の横にありすぐわかる。③は②の岩の横か、その10 m 先から植林帯を右に入る。④と⑤は①の手前から明るい林の中の踏み跡を辿ると早いが、③の岩からも踏み跡があり、③④間は意外と近い。

⑥と⑦は駐車スペースから植林帯を下に 30m 程下ったところに大きな山のような岩があり、その南側の植林と灌木帯の境目の上下にある。

⑧から⑩は大きな水路の少し先に小沢があり、その右岸の斜面に 3 つ並んでいるが林道からは見えない。小沢沿いに下りて行けるが、水路先の駐車スペースから植林の中の切り開きを真っすぐ突っ切ったほうが早い。

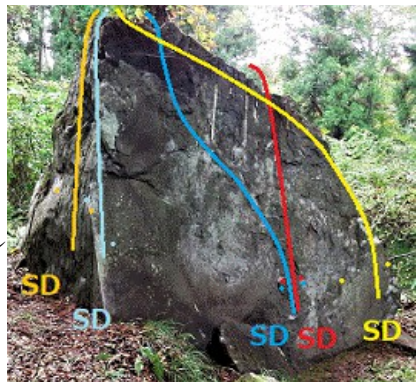
《課題紹介》

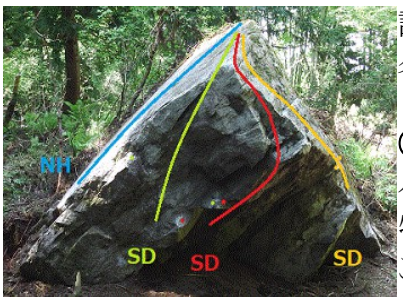
■笹葉エリア

①岩（仮称：関所岩）

林道の直ぐ脇にあり、エリアの目印となるピラミダルな岩。

被りはなくフェイスをバランスクライミングで登る。下に剥がれた岩が落ちているので注意が必要で、クラッシュパッドは必ず使用した方が良い。





課題については、青ライン（課題名：通行手形）がちょっと楽しめる。

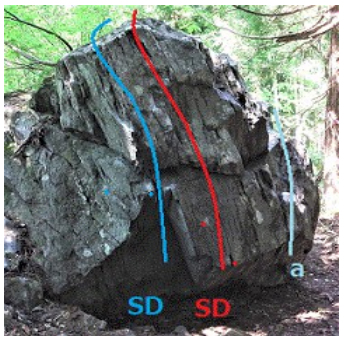
②岩

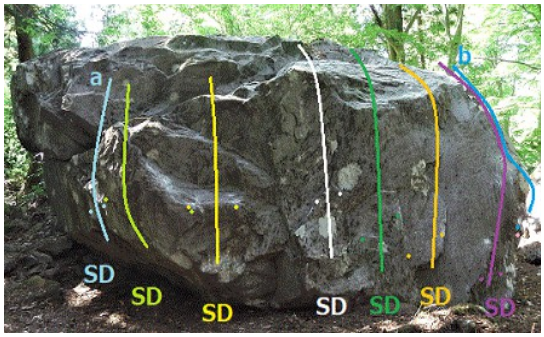
ハングとスラブを持つ小さな岩。

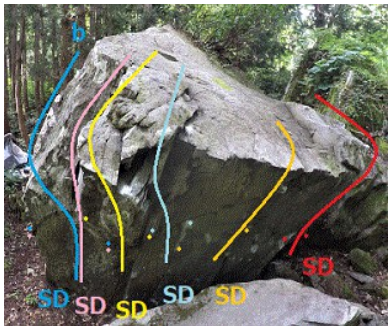
特に面白味はないが、ウォームアップ程度なら使える。

この岩から踏み跡を奥に入ると③の岩に行ける。

③岩(仮称:タンク岩)　（トポ左:南面　中央:東面　右:北面）

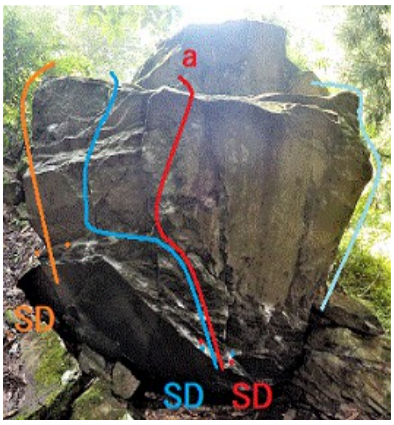


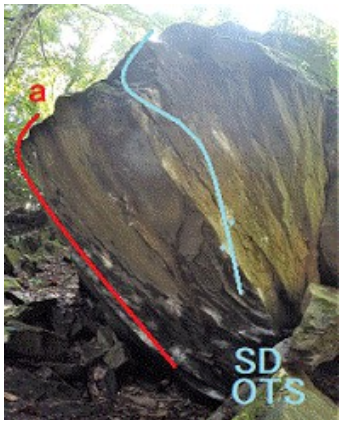




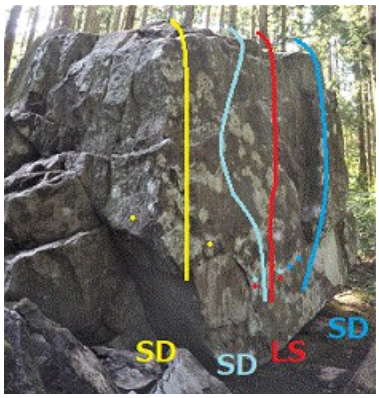
高さは 2.5m 程だが、課題が沢山あり楽しめる。
　易しい課題が多いが、南面の赤ライン（課題名:主砲）、東面の紫ライン（課題名:90 式）、北面の青ライン(b)（課題名:10 式）辺りがそこそこ面白い。

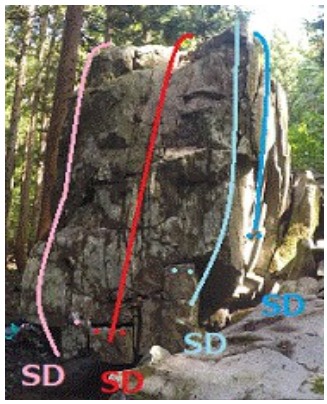
④岩（仮称:ささっぱハング）
（トポ左:北面　　右:西面）
　このエリアで最もボルダーっぽい前傾壁（北面 135 度）を持つ岩。左右の下地の岩が出ており危険なので、パッドは必ず複数枚使用した方が良い。
　全体的にホールドは良いが、被っているので、上半身にある程度のパワーがないと厳しく感じると思われる。
　赤ライン（a　課題名:縄文火焔型）がお薦め。





⑤岩（仮称:ブロック岩）　（トポ左:北面　トポ右:西＆南面）
　高さは 4m 程で大きいが、被りはない。
　北面は細かなフェイスでトライ中に何か所かホールドが剥がれたので落ちるものは落とし、安定させてからトライしたが、ちょっと易しくなってしまった。青、赤、水色ラインがそこそこ面白い。
　西面は易しいフェイスだが、赤ラインの出だしはちょっとパワフル。
　南面は浮石っぽい大きなフレークを登る。

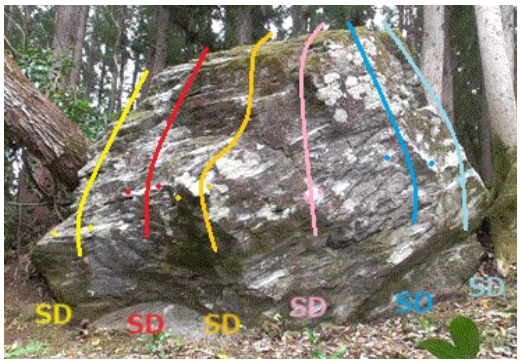




■パーキング下
⑥岩
　上側の逆層の岩で高さ 3m 程であるがスラブ状なので威圧感はない。
　赤ラインのみ SD 課題でスタートの右手は側壁のガバを使用。
　青とオレンジラインは、マントリング。

⑦岩

下側の 2m 強の岩。逆層だが下に良いフットホールドがあるので難しくはない。

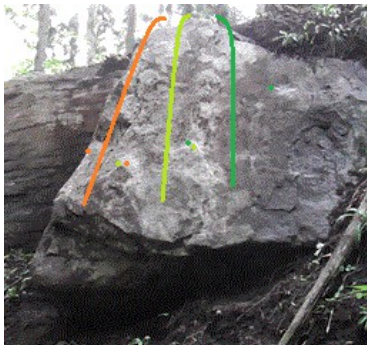


■沢エリア

梅雨明けまもなくで土壌に溜まった水分が浸み出し、しかも沢沿いなので湿度が高く結露が酷すぎて、最悪の条件でのトライとなってしまった。乾いて条件が良ければ⑨岩などは難しい課題が設定できる可能性がある。

⑧岩 （トポ左：西面　右：南面）

苔だらけで下地が悪く傾斜もないが、苔を落としたら意外とホールドが出てきて易しい課題が 4 本ほどできた。

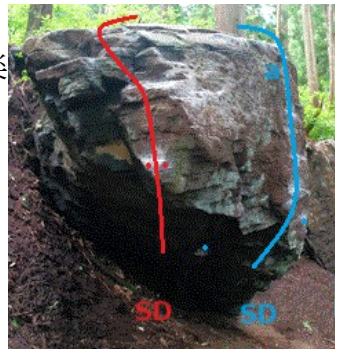


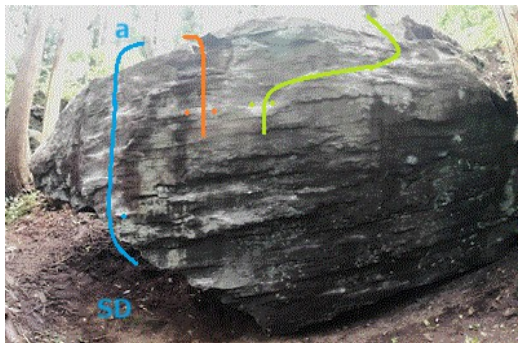
⑨岩（虻岩）

ハングと小カチフェイスで構成された 2m 程の岩でいろいろと楽しめる。

赤ラインは、ハングの先端の小カチから両手マッチスタート。

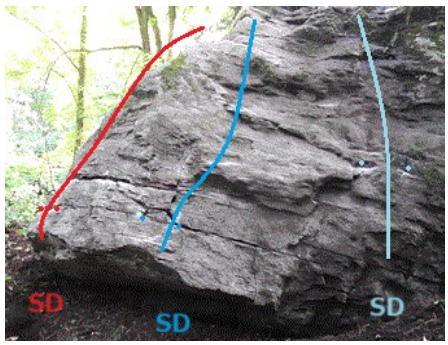
青ラインは、左手ハング奥のカチホールド、右手はハングの縁近くの小カチホールドでスタートし、上の良いホールドに手を飛ばしていく。





オレンジラインと黄緑ラインのさらに下からのスタートは未解決。

⑩岩

全面蔦に覆われていたが、蔦を落としたらまずまず遊べるボルダーになった。

赤ラインと青ラインはガバで引き付け思い切り足を上げる。